

ぼくのかんがえたさいきょうの「じょうほうか」

わたやん

2022.09.23

自己紹介

ハンドル わたやん

肩書き 私立高校数学科教諭 (1989～), 情報科教諭 (2004～)

個人サイト <https://watayan.net>

twitter @watayan

得意分野 プログラミング?

楽器 ギター, ベース

「情報科」の歴史

それ以前 いろいろな経緯があって…

2003 高校で教科「情報」が必修
「情報 A」「情報 B」「情報 C」から 1 つを選択

2013 「社会と情報」「情報の科学」から 1 つを選択

2022 「情報 I」が必修、「情報 II」が選択可能

2025 大学入学共通テストに「情報 I」導入

よくある「情報科」のイメージ

- コンピュータの授業
- オフィスソフト
- 街のパソコン教室
- プログラミング
- 情報処理

梅棹忠夫「知的生産の技術」(1969)あとがき

さまざまな知的生産技術の教育は、おこなわれるとしたら、どういう科目で行われるのであろうか。

(略)

やがては「情報科」というような科目をつくって、総合的・集中的な教育をほどこすようになるのではないか。

ぼくのかんがえたさいきょうの…

ぼくのかんがえた
さいきょうの「じょうほうか」とは…

自分の能力を上げるためのあらゆる技術

発想法とか

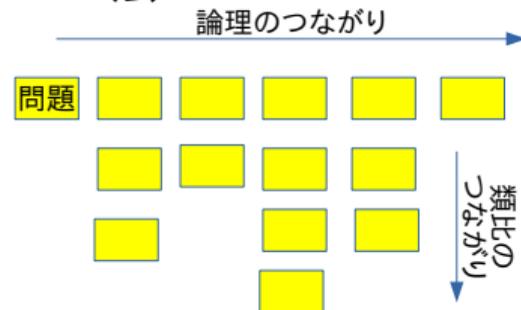
等価変換理論

$$A_o \xrightarrow[\sum_{Vi \rightarrow}]{\sum^{\uparrow} a} \stackrel{CE}{=} \sum_{\sum^{\uparrow} b} B_{\tau}$$

KJ法

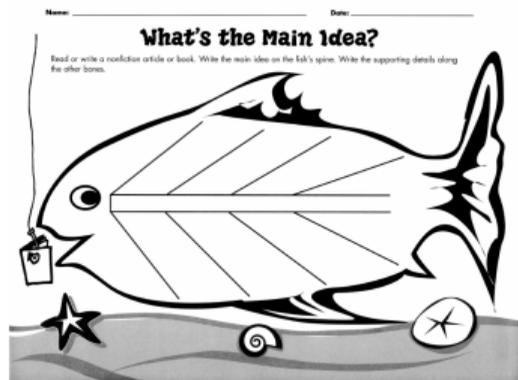


NM法

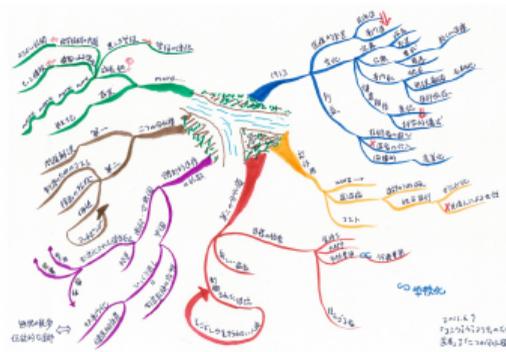


発想の広げ方とか

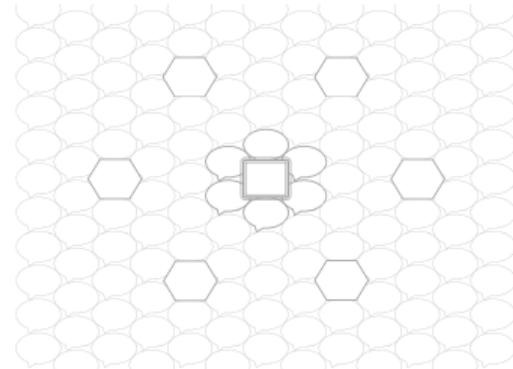
シンキングツール



マインドマップ



はちのすノート



つまるところ「勉強科」

パフォーマンスを上げるためのあらゆる手段

- パソコンを使うか？
- インターネットを使うか？
- 紙に書き出すか？
- ○○法を使うか？

→ パフォーマンスを上げるためならなんでも OK

アーサー・C・クラーク「3001年終局への旅」(1997)



一枚一枚にカレッジの学位ひとつ分に相当する教材がそっくり収まっている。その一枚をブレインボックスにさしこみ（略）目覚めたときには、もう心の中に新しい領域が開かれているのだ。
といっても、当の知識を探すと、それがあることがわかるだけなのだが…。